

教育上の課題と工夫

コロナ禍の中であっても、学習や研究を進めるためには図書館にある資料は必要不可欠である。新型コロナウイルス感染症の蔓延状況に合わせ、休館中を含め、図書館では様々な対応をしてきた。

1. 座席数の削減、アルコール等の設置

閲覧席を5割、ラーニングコモンズを3割削減し、さらに食事をとることが可能なラーニングコモンズにはアクリルパネルを設置した。

2. 図書館利用制限（主な対応）

（1）休館：令和2年4月13日～5月13日、8月1日～9月27日

休館中は、学内利用者については、メールや電話での予約による図書貸出や文献複写に対応し、図書館入口にて非対面にて提供した。

（2）短縮開館（8：30～19：00）：令和2年5月14日～5月31日

学年ごとに利用場所のゾーニングを行い、接触を避けるよう配慮した。

（3）学外者の利用制限：休館、短縮開館中

および令和2年9月27日～令和3年10月31日

学外者へのサービスは、休館および短縮開館中を含めすべて停止していたが、利用要望が多かったため、令和3年4月1日よりメール・電話による図書の貸出予約に対応した。文献複写は病院図書室を通したILLのみ対応した。

（4）通常開館：令和3年11月1日～

座席数の削減は継続。グループ学習室のグループでの利用は禁止。

学外利用者は、カウンターで受付し、短時間での利用を呼び掛けた。

3. 学外からの電子リソースへのアクセス方法の広報

令和2年度はメールマガジン、令和3年度は図書館ミニレターを配信し、学外からのデータベースや電子コンテンツの利用方法や図書館の情報を周知するよう努めた。

表1）図書館の利用状況の変化

年度	年間利用者数 (人)	貸出冊数 (冊)	ILL 複写件数		RemoteXs* ログイン回数
			依頼	受付	
令和元年	60,435	12,674	121	422	195
令和2年	28,238	7,253	176	528	2,414
令和3年 (～12月)	23,001	7,114	191	597	2,388

* 学外から契約データベース等にアクセスするためのリモートアクセスサービス

With コロナに向けて

コロナ禍により、全国的に図書館のデジタル化が急速に進んでおり、当館でも電子リソースの充実を図っている。また、研究成果や大学の情報のオープン化が求められているため、機関リポジトリへの積極的な登録を呼び掛け、利用促進に向けての情報発信や、講習会等を企画・実施する必要がある。